

ウクライナを取り巻く社会情勢に対する声明

2022年2月24日、ロシア政府はウクライナに軍事侵略を開始しました。すでに、両国の尊い命が失われており、その被害は拡大しています。ロシア政府は、「ウクライナに住むロシア人が威圧され、民族虐殺に遭っている人たちを守り、ウクライナの「非軍事化と非ナチ化」を実現すること」を宣言していますが、いかなる理由があろうとも軍事力による国家間の紛争解決は決して許されることではなく、国連憲章上においても明白です。

更に、ロシア政府は原子力発電所への攻撃や核兵器の使用を示唆した声明をも発表しています。ひとたび核兵器が使用されれば、生命や地球環境に取り返しがつかないほど大きな被害がおよび、人類史上に再び大きな汚点を残すことでしょう。私たちは、唯一の戦争被爆国である日本の青年として核の保有も威嚇も決して看過することはできません。

私たち青年団は、先の大戦の反省から「青年は二度と銃をとらない」という言葉と共に、積極的平和の実現に向けて、地域から世界に向けて行動してきました。今まさに、ロシア・ウクライナ両国の若者や市民が銃をとっています。私たちは若者や市民をこのような行動に駆り立てるものに強い憤りを覚えます。

私たちは改めて「青年は二度と銃をとらない」ことを胸に刻みながら、ロシア政府のウクライナ侵略に対し強く抗議し、即時中止と撤退を強く求めます。

2022年3月4日

日本青年団協議会常任理事会